

R 5 . 1 2 . 2 2

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校
進路指導部

進路だより



年の瀬が近づき、慌ただしさを感じるころとなりました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症への引き下げを受け、説明会や講話会を対面で実施できるようになりました。今回は、小学部進路説明会・講話会、中学部3年生の産業現場等における実習、夏休みに実施した進路セミナー、高等部1年生後期校内実習、企業向け学校見学会の様子をお伝えします。

小学部 進路説明会・講話会

7月6日（木）に、小学部の進路説明会・講話会を開催し、30名ほどの保護者の方々に御参加いただきました。説明会では、「小学部進路の手引き」を参考に、小学部の進路指導について基本的な部分における学校での支援方法を紹介し、御家庭でも参考にさせていただけるようなお話をさせていただきました。

講話会では、「卒業後の進路について」と題し、社会福祉法人養楽福祉会総合相談支援センターの林幸児様より、近年の高等部卒業後の進路状況や主な進路先、将来を見据えたうえで今必要なことなどについて御講話いただきました。高等部卒業後の進路先には様々な選択肢があり、内容も多様です。その違いを知り、事業所情報を収集する大切さ、「WAMNET」という情報検索サイトがあることを教えていただき、有益な情報が満載の内容でした。参加された保護者の方からは、「ぼんやりとしか見えていなかった卒業後が少しくっきりとした」などの感想が寄せられ、漠然とした進路のイメージについて具体的に考えられる機会になったのではないかと思います。

来年度以降も開催し、保護者の方々にとって分かりやすく、お子様の進路について考えていただける機会にしたいと思います。

中学部3年生 産業現場等における実習

7月3日（月）から7日（金）までの五日間、産業現場等における実習を実施しました。この実習では、校内で三日間の実習を行い、居住地域にある校外の障害福祉サービス事業所で二日間の体験実習を行いました。

校内実習では、ボルトナットの組付けや分解などの軽作業を通して、「挨拶・返事・報告」を丁寧な言葉で自分からできるように練習をしました。校外に実習に行くということで、これまでの校内実習に比べて生徒も緊張感をもって学習に取り組み、事前学習や校内の実習を進めるにつれ、表情も引き締まり、普段から言葉遣いに気を付ける様子が見られました。

校外での実習では、どの生徒も不安そうな様子で初日をスタートしました。「就労継続支援B型事業所」「生活介護事業所」と一口に言っても、それぞれの事業所で作業内容や雰囲気は異なっており、終日作業に取り組むところもあれば、午後からは創作活動やレクリエーションに取り組むところもありました。二日間という短い実習でしたが、進路選択について考える、一つのきっかけになったのではないかと思います。今回の経験を今後の学校生活や自分の将来のために生かしてほしいと思います。



進路セミナー

8月23日(水)に、小学部5、6年、中学部全学年の保護者を対象に進路セミナーを開催しました。開校以来初めての試みであり、また、夏季休業中での開催でしたが、30名以上の保護者の方々に御参加いただきました。

前半は、高等部教務主任より「高等部での教育について」と題し、本校高等部の教育課程や指導形態、また、高等部への進学さらには卒業後を見据えて中学部段階で家庭において取り組んでおくことなどについてお話をさせていただきました。

後半は、通学区域内の各市福祉課の方々に来校していただき、「地域別進路相談会～聞いてみよう！福祉サービス～」を実施しました。それぞれ各市のブースに分かれて、居住地にある福祉サービスの内容を伺ったり、分からないことを質問したりと、福祉課の方々と直接話をするのができ、つながりができました。

参加された保護者の方々からは、「卒業後の就労について考える機会になった」、「福祉課の方々とつながりができてよかった」などの御意見の他に、「開催時刻が早く参加が難しい」との御意見も多数ありましたので、来年度は開催時刻を検討し、多くの保護者の方々にとって有意義なセミナーとなるよう内容もブラッシュアップして開催したいと考えています。



地域別進路相談会

高等部1年生 後期校内実習

10月16日(月)～10月27日(金)の2週間、高等部の後期校内実習を行いました。前期同様に、企業や事業所に見立てた六つの班に分かれて作業に取り組みました。

前期は1週間の実習でしたが、今回は1年生にとっては初めての2週間継続しての取組でした。通常の授業とは異なる作業班編成や、比較的関わりの少ない他学年の先生の指導など、慣れない環境で緊張感をもちながらの実習となったと思います。前期の経験を踏まえて、今回も一人一人目標をもち、校内実習に挑みました。設定した目標を達成できた場面があったり、新たに課題が明確になったりするなど、様々な結果が得られたと思います。特に自立と社会参加の基本となる挨拶や返事、報告、態度などは普段の学校生活よりも意識して取り組むことができ、実習を通して身に付いてきたように思います。

今回の目標や課題は、実習後の普段の学校生活全般における課題でもあり、卒業後の社会生活にも必要になってくることと思います。とてもよい経験となったので普段の生活の中でしっかりと振り返り、基本的な力を高めていってほしいと思います。



企業向け 学校見学会



11月7日(火)に企業対象の学校見学会を実施しました。今年は、通学区域を中心に30社50名ほどの方が来校されました。今回の見学会では、本校の進路状況や実習、支援などの流れを進路指導部より説明し、高等部の作業学習や校内の施設見学を行いました。また、ハローワーク瀬戸の方から企業の方に、障害者雇用の現状や手続きについての話がありました。

見学会後のアンケートには、「就職までのプロセスがよく分かった」、「普段の様子を知ることができたので、実際に働くことができるのかを考えることができた」、「作業のレベルの高さに驚いた」など、本校で学ぶ生徒の元気な様子や頑張る姿に感銘を受けている方が多く見られました。

今後も、進路先の事業所や企業に本校のことをより知ってもらうために、今回のような見学会や説明会等を実施し、生徒が卒業後の進路を決める際に必要な情報を収集したり、進路先と連携したりできるような体制作りに努めていきたいと思っています。